

## お客様との関わり

### 品質保証

当社は「お客様第一」「品質第一」のクルマづくりを実践し、お客様の期待に応える「世界一の魅力あるコンパクト車」をお届けすることを目指しております。そのため、クルマづくりに携わる一人ひとりが、品質最優先の意識を持ち改善に努め、全社で連携してお客様の安心と安全、満足度の向上に努めております。

### 「お客様第一」の風土づくり

全社員への「お客様第一」「品質第一」の意識浸透の仕組みとして、品質教育を実施しています。また、トヨタ自動車(株)と連携した品質講話会、品質事例展示会等を定期的開催し、品質に対する問題意識を共有しながら各業務に取り組んでいます。



品質教育の日



品質講話会



品質事例展示会

2015年度は「心の研鑽会」(部長がリードし模範組長を作り拡大する活動)を通じた部長・課長・工長・組長との日々のコミュニケーションや、毎月11日に実施している「品質教育の日」に全工程員が参加し、品質知識や意識の向上を図っています。また、実物を用いた確認により、工程員の意見を引き出し、改善も行っています。これらの活動を通じ、高品質なクルマづくりに繋がっています。

【ボディ傷について勉強した工程員の声】  
自分の不注意でボディ傷を発生させ、お客様や後工程に迷惑を掛けないようにします。今日は現地現物で職制から説明を受けたので良く理解できました。



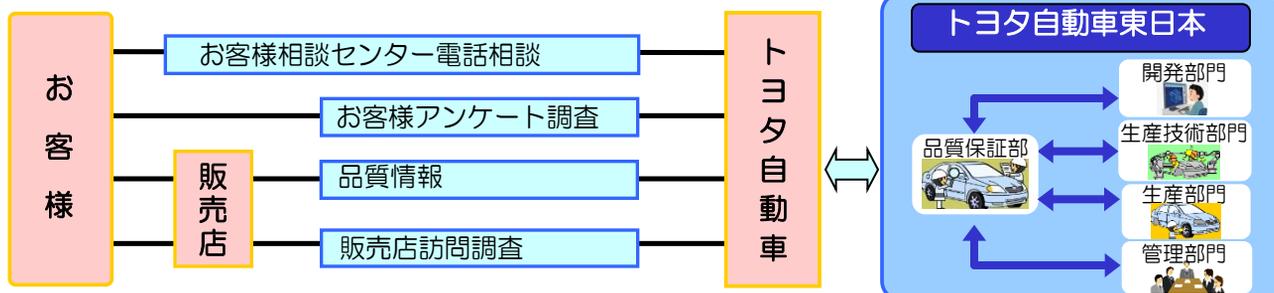
2015年度トヨタグループ  
品質向上活動表彰

- ・品質優秀賞 (岩手工場)
- ・品質優良賞 (東富工場)
- ・ユニット品質優秀賞 (宮城大和工場)
- ・改善活動表彰 (宮城大衡工場)

全社を挙げた品質向上活動の推進により、2015年度トヨタグループ品質向上活動表彰にて、当社は品質が良い工場に授与される品質優秀賞を含めた4つの賞を全工場で受賞することができました。

### お客様の声の収集と素早い対応

トヨタ自動車(株)に入ったお客様からのご相談やご意見、貴重な品質情報は、トヨタ自動車と連携を図り素早く改良・改善を実施し、その結果をお客様にフィードバックしています。また、当社で生産している北米向け輸出車は、お客様の生の声を聞き、現地現物での調査・確認と速やかな対応ができる様、当社従業員が米国トヨタ自動車販売(株)に駐在し、現地スタッフとともに品質向上活動を展開しています。



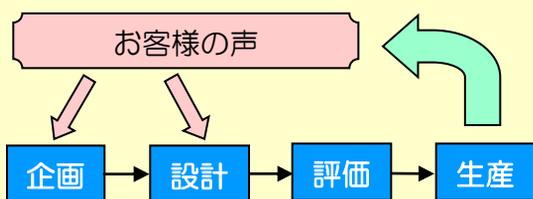
## お客様との関わり

### 人に優しい製品づくり

#### 福祉車両、福祉機器の開発

- 当社は「すべてのお客様に快適な移動の自由を」「お客様の幸せな暮らしのために少しでもお役に立つこと」これを合言葉に、電動車いすや福祉車両などを開発しております。
- 福祉施設や展示会にてユーザーの皆様のご意見をお伺いし、製品開発に活かす活動を進めております。

お客様の声を製品開発へ反映



#### 当社で生産している福祉車両・機器

	使用目的	仕様
福祉車両・機器	助手席への移乗補助	回転シート／昇降回転シート
	後席への移乗補助	回転シート／昇降回転シート
	車いすのまま乗降	リヤスロープ
	自分で運転	移乗補助装置／車いす収納装置
	歩行補助	4WD電動車いす

#### ◆販売中商品を展示イベントに出展



【東京モーターショー2015】  
シエンタ車いす仕様車（スロープタイプ）

#### ◆販売前商品を参考出展



【国際福祉機器展2015】  
シエンタに搭載した車いすドライバー向け移乗補助装置  
「ウェルライド」を参考出展



【国際福祉機器展2015】  
スピード助手席リフトアップシート車

#### Patrafour®



4WD電動車いす  
「Patrafour」



【東京モーターショー2015】  
4WD電動車いす「Patrafour」

### 社会貢献活動

地域社会とのコミュニケーションや地域における環境保全活動を通じて、地域社会から信頼される企業を目指し取り組んでおります。

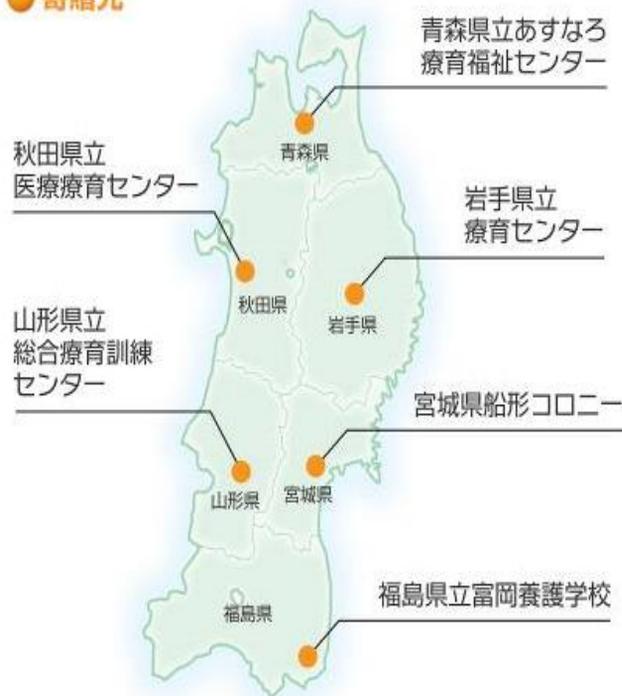
### シエンタ ウェルキャブ 車いす仕様車の寄贈

東北に根ざす企業として地域に貢献することを目的に、シエンタ ウェルキャブを東北各県に1台ずつ合計6台を寄贈し、福祉施設やリハビリテーションセンターでの送迎車としてご利用いただいています。当社では実際にご利用いただいているお客様の声をお聞きし、今後の車両開発にフィードバックすることで、より魅力あるコンパクト車の開発へと繋げていきたいと考えています。



秋田県立医療療育センターの皆様

#### ● 寄贈先



#### ● 寄贈の様子



’15.12.9 青森県庁



’15.11.30 岩手県庁



’15.10.28 宮城県庁



’15.11.30  
秋田県立医療療育センター



’15.12.2 山形県庁



’15.11.17 福島県庁

## 社会との関わり

### 工場見学の受入

小学5年生の社会科見学の一環として、工場見学を積極的に受け入れています。本社・宮城大衡岩手、東富士の各工場にて約38,000人にご来工いただきました。

[詳しくはこちら](#)



本社・宮城大衡工場



岩手工場



東富士工場

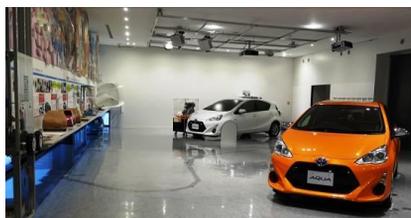
### 結[YUI]ギャラリー

地域の皆様と当社を結びつける空間として、本社・宮城大衡工場と岩手工場の2カ所にあるギャラリーでは、当社のクルマづくりにおける開発の取組みやハイブリッド車の仕組みなど目で見て触れて体感していただける展示内容となっています。昨年度は本社・宮城大衡工場では約26,000人、岩手工場では約13,000人 合計約39,000人の皆様にご覧いただきました。

[詳しくはこちら](#)



本社・宮城大衡 結[YUI]ギャラリー



岩手 結[YUI]ギャラリー

### 地域のイベントに協賛や出展

第39回「松島ハーフマラソン」に当社も協賛し、車両3台を提供しました。また、大会には当社従業員も約20名出場しました。



松島ハーフマラソン（時計車としてシエンタを提供）



東京モーターショー2015  
でも時計車は大活躍

東北こども博、きたかみかねがさきテクノメッセ等、各地で開催される様々なイベントへの出展・車両提供等の協力を通して地域活性化のサポートを行っています。



東北こども博  
（電動車いすパトフォー・シエンタ展示試乗）



きたかみかねがさきテクノメッセ  
（クレイモデル・シエンタ展示）



いしのまき復興マラソン  
（支援車両提供）

### 復興支援ボランティア活動

トヨタグループでは2011年6月から岩手県気仙地区で復興支援ボランティア活動を継続しています。当社もトヨタグループの一員として、また地元企業として従業員より有志を募り、これまでに延べ305名が参加しました。



大船渡マラソン（大船渡市）



大船渡夏まつり（大船渡市）



りんご収穫（陸前高田市）

当社独自の活動として、宮城県南三陸町などで、地域支援活動としてニーズに合わせて幅広く実施し、これまでに217名が参加しました。



ワカメ収穫（南三陸町）



蒲生海岸清掃（仙台市）



車いす清掃（大衡村）

### 宮城県岩沼市 千年希望の丘植樹

千年希望の丘で行われている植樹祭に2014年より参加しています。2015年は従業員22名が愛知県の子どもたちが育てた苗木、60本を含む1,000本を植樹しました。



植樹祭 会場門



愛知県の子どもたちが育てた苗木



植樹祭の様子

## 社会との関わり

### トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーンコンサートへ高校生を招待

トヨタ自動車（株）は復興支援の一環として、トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーンコンサート仙台公演、盛岡公演を開催しました。当社もこれに協力し、一流の演奏に触れてもらい、心の復興の一助になればとの思いで高校生（吹奏楽部員）645名を招待しました。また、沿岸地区の公共交通機関が復旧していない地域の学校には、バスによる送迎を実施しました。さらに、岩手県住田町、宮城県南三陸町で開催された演奏者によるふれあいコンサート（出張コンサート）には、演奏者の移動用車両を提供しました。



公演の様子



招待校代表との記念撮影



ふれあいコンサート

### 関東・東北豪雨復旧支援活動

「平成27年9月 関東・東北豪雨」で大きな被害を受けた大衡村・大和町において、当社から161名が参加し、泥の掃出しや浸水した家具の運搬などを行いました。また、同じく被害を受けた大崎市へは、要望により車両3台を提供しました。



床板を剥がしてから泥を掃き出し



床上浸水の被害に遭った部屋の清掃



浸水被害により使用できなくなった家具の運搬

### 新入学児童への交通安全啓蒙活動

当社が拠点を置く各市町村の新入学児童約7,400人に交通安全標識や交通ルールをプリントした定規を贈呈させていただきました。



大衡村



大和町



金ヶ崎町



裾野市



横須賀市

## 社会との関わり

### 交通安全への取組み

自動車の製造に携わる企業として地域の皆様や行政の方々と連携を図りながら、社内外において積極的に交通事故防止活動を推進しております。

#### 交通安全講話会の実施

各地区の警察署交通課長を講師にお招きして、地域の交通事情を踏まえた注意点を社内各拠点の従業員へ講話いただき、安全運転の意識付けを図っています。



本社・宮城大衡工場



宮城大和工場



東富士総合センター

#### 運転講習会の実施

当社の新入社員や東北への赴任者に対し、雪道の運転教育を実施しています。また事故を起こしやすい29才以下の従業員に対し、呼称運転や安全確認の注意点など運転教育を実施しています。



本社・宮城大衡工場、大和工場



本社・宮城大衡工場

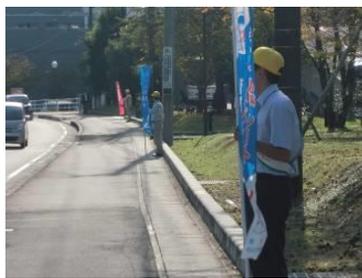


#### 従業員による交通安全の呼びかけ

従業員の出退勤時、工場周辺にて通行車両や歩行者に対し、また小学生の下校時間に合わせて交通安全の呼びかけを定期的実施し、交通事故防止を図っています。



宮城大和工場



東富士総合センター



東富士工場

## 従業員との関わり

### 安全

「全員参加で安全文化の構築と取組みの質向上」をスローガンに、全社を挙げて安全活動に取り組んでおります。

#### 安全の取組み

##### 取組みの考え方

「安全が良くなれば品質、稼働も良くなる」との考えのもと、災害ゼロ実現のため、下記取組事項を重点に活動しています。

- (1) 「止める・呼ぶ・待つ」の浸透活動
- (2) 全員参加で徹底した5S※1活動
- (3) 一人ひとりの安全感性向上

※1 5Sとは  
整理・整頓・清掃・  
清潔・躰をいう



安全文化の構築を誓い合う狙いで毎年1月13日を「安全を誓う日」として活動

##### 「止める・呼ぶ・待つ」の浸透活動

異常発生時は「止める」を実践し、職制と工程員のコミュニケーションで異常の真因対策を実施する活動が浸透するよう、トップ自ら現地現物で確認しています。



「止める・呼ぶ・待つ」の確認会

##### 全員参加で徹底した5S活動

「5Sは仕事の基本」との考えのもと、全員参加で職場の5S活動に取り組んでいます。



職場の5S活動

##### 一人ひとりの安全感性向上

ヒヤリハットや危険予知訓練（一人KY、ビデオKYT）、擬似体験など、様々な活動を通して安全感性の向上に取り組んでいます。



安全道場で擬似体験教育

##### 法改正への対応（コンプライアンス）

化学物質リスクアセスメントの義務化に伴い、対象者へ教育を実施し、法令遵守を徹底しています。



化学物質リスクアセスメントの教育

## 従業員との関わり

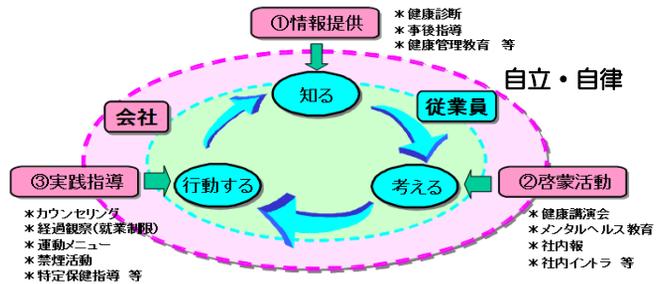
### 健康

#### 心と体の健康づくりの取組み

##### ● 健康管理活動

従業員一人ひとりが健康づくりを実践していけるよう、心身の健康維持・増進につながる施策を推進しております。

##### ● 重点取組み事項



#### 体の健康（生活習慣病予防）

- BMI 値※1低減に向けた取組み
  - (1) 運動習慣づくりの実施
  - (2) 職場スポーツイベントの実施
  - (3) 社員食堂でヘルシーランチの提供
- 喫煙率低減に向けた取組み
  - (1) 就業時間内の禁煙
  - (2) 禁煙教室の実施
  - (3) ニコチンパッチ処方による禁煙促進

※1〔体格指数〕体重÷（身長×身長）

#### 心の健康（メンタルヘルス対応）

- 発症予防・早期発見に関する取組み
  - (1) ストレスチェックに基づく職場診断と対策の実施
  - (2) 管理監督者のためのメンタルヘルス研修会の実施
  - (3) カウンセリング制度の充実

### 人材育成

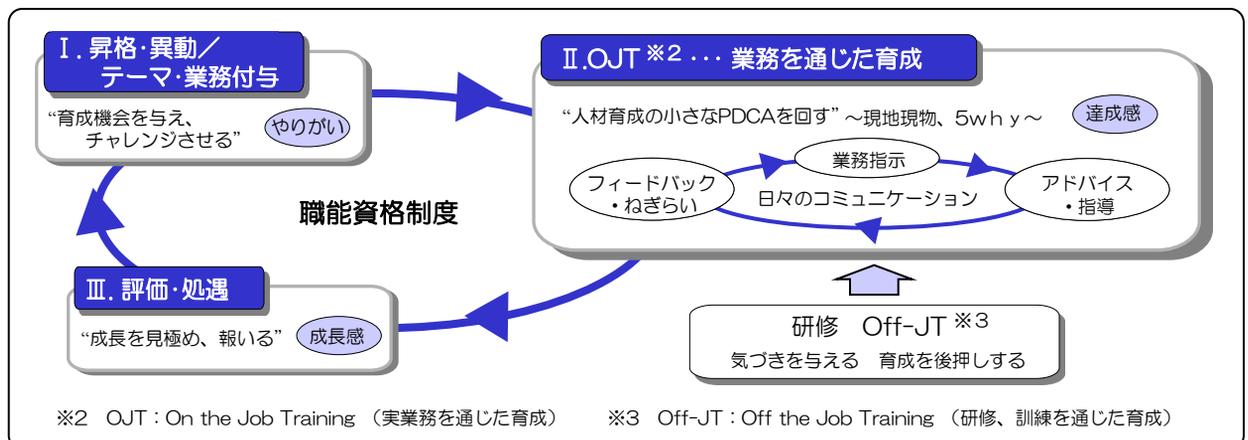
私達は「東北を基盤に 世界一の競争力を持つ 魅力あるコンパクト車をつくる」ことを目指すために、「人が育つ・人を育てる」取組みを進めております。

#### 人材育成の仕組み

人材育成の基本的な考え方は職能資格制度を中心に、「テーマ・業務付与」⇒「OJT」⇒「評価・処遇」⇒「昇格・異動」の人事サイクルをしっかりと回すことです。これを補完する仕組みとして、気づきを与え、育成を後押しする各種研修制度（Off-JT）があります。職場での業務を通じ、OJTを基本に上司が部下を一貫性を持って継続的に育成しています。

＜目指す人材像＞

- ・チャレンジ精神に溢れ、自ら育つ、人を育てる人材
- ・現地現物を実践し、知恵を絞りながら改善し続ける人材
- ・チームワークを大事にする人材



## 従業員との関わり

### 人材育成

#### トヨタ東日本学園

トヨタ東日本学園では、将来ものづくり現場の中核として活躍できる人材の育成に取り組んでいます。当社の社員だけでなく、東北のものづくり企業の皆様にも受講いただき、「人づくりを通じた東北のものづくり基盤の強化」に取り組んでいます。 [③詳しくはこちら](#)



トヨタ東日本学園 外観

現在は「若さ・元気」を前面に日々取り組んでいます。今後は、学園で学んだ「技能教育」をもとに、職場先輩の指導を受け、更なる自身の成長に繋げていきます。  
(学園卒業生)



実習の様子



◎受講生状況

(人)

		2014年	2015年	2016年
長期コース	当社訓練生	15	15	15
	企業訓練生	4	4	5
中期コース		6	6	随時受付中
短期コース		82	102	

### 働き方の多様性

多様な人材が生き生きと働ける環境を作り出すことを目指し、当社では「育児・介護支援」「高齢者雇用」「障がい者雇用」などに取り組んでおります。

#### 育児・介護支援

育児や介護に対する諸制度と、働きやすさを追求した勤務制度の充実に継続的に取り組んでいます。

◎主な育児支援制度

◎主な介護支援制度

	▼出産	▼小学校入学	▼小学校卒業
育児休職	通算3年（非ライン職場：通算2年）		
短時間勤務	4・6・7Hから選択可能		非ライン 職場限定
所定時間外労働免除			
時間外労働制限			24H/月 150H/年
子の看護に関する休暇	子1人：年5日、子2人以上：年10日		

介護休職	家族1人につき1年
短時間勤務	家族1人につき1年 4・6・7Hで選択可能 （非ライン 職場限定）
時間外労働制限	24H/月、150H/年まで
介護休暇	家族1人：年5日 家族2人以上：年10日

#### 高齢者雇用（定年再雇用制度）

定年退職される方について、会社で培った高い技能・技術を活かしていただくことを目的に、定年再雇用制度を導入しており、多くの方が現役として活躍しています。

#### 障がい者雇用

企業の社会的責任という観点から、障がい者雇用促進に積極的な活動を行っており、雇用率は2.22%と法定雇用率（2%）を達成しています。（2016年3月末）

### 労使関係

労使関係は、労使相互信頼・相互責任を基本的な考え方としています。お互いを理解・信頼し、協力し合うことで、初めて会社の発展と従業員の自己実現が達成できるものと考え、定期的話し合う場を設けて活発な意見交換を行っております。

## 従業員との関わり

### スポーツ活動支援

従業員が一丸となった応援を通じた職場の一体感醸成やコミュニケーション向上を目的に、3つのスポーツクラブ活動に力を入れております。また、職場対抗駅伝大会を毎年実施しております。

#### ■ スポーツクラブ活動

[詳しくはこちら](#)

##### ● セーリングチーム

1970年に発足し、1988年のソウルオリンピック出場を初めとして、2012年ロンドン大会まで6大会連続出場しており、2016年リオデジャネイロ大会には、49er級とRSX級の2種目での出場が内定しています。

なお、49er級の高橋、牧野両選手は2大会連続、RSX級の富澤選手は3大会連続のオリンピック出場となります。



49er級：高橋選手、牧野選手



RSX級：富澤選手

##### ● ハンドボール部

1996年に創部、2012年度より国内最高峰の日本リーグに参戦し、日本一を目指し活動しています。日本リーグ参戦以降、確実に力をつけ、2015年度は日本リーグレギュラーシーズンで3位の成績を収め、初のプレーオフ進出を果たしました。

また、川端選手がベストディフェンダー賞を獲得するなど、昨年度に続き個人成績でも着実に一人ひとりが成長しています。



日本リーグで3位でプレー初出場を果たしたハンドボール部



ベストディフェンダー賞を受賞した川端選手

##### ● 硬式野球部

2012年に創部、「仕事も野球も100%」をスローガンに都市対抗野球大会本選出場を目標に活動し、2015年度は東北二次予選まで勝ち進みました。続く日本選手権では、昨年に続き東北最終予選準決勝まで勝ち進むことができました。今後もそれぞれの本戦出場を目指し、チーム一丸となり頑張っていきます。



岩手県を代表するチームとして  
更なる活躍が期待される硬式野球部

#### ■ 社内駅伝大会

従業員の一体感やチームワークを醸成し、職場のコミュニケーションを活性化させる施策として、毎年社内駅伝大会を実施しています。開催4年目の2015年は、一般の部・シニアの部に加え、「楽しく健康的に走る」を目的に「ふれあいの部」「仮装の部」の2種目を新設し、従業員、家族合わせて約3,300名の方が参加しました。



各地区の予選を勝ち抜いたチームによる決勝大会  
(第4回大会：本社・宮城大衡工場にて)

【読者の皆様へ】

ご意見、ご要望をお聞かせいただきたく、こちらのメールアドレスに宜しく  
お願い致します。

[ci\\_ankan@toyota-ej.co.jp](mailto:ci_ankan@toyota-ej.co.jp)

発行部署 トヨタ自動車東日本株式会社 安全・環境室  
〒981-3609 宮城県黒川郡大衡村中央平1番地

お問い合わせ先 安全・環境室 環境グループ  
TEL 022-765-6172  
FAX 022-765-6308

発行 2016年6月



当社の環境ロゴマーク